

# 白門58会通信

第11号

令和2年3月31日(火)

発行者 中央大学学生会白門58会支部

東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 コンサルファーム有限会社 内

<http://chuo58.com/>

白門58



検索

ウソ、  
信じられない...

もう

まだ

早っ

とうとう

まだまだ

理想  
現実

でも

定年

現在  
過去  
未来

だって

それ  
でも

これから、  
これから

夢

還暦

# 定年退職を機に挑んだお遍路 1,700キロを歩き通して得たもの

この道で合っているか、予約した宿に今日中に辿り着けるか、マムシに噛まれないか、足は大丈夫か、水分は確保できるか、この暑さ(雨)はいつまで続くのか。たくさんの不安を抱えつつ前へ進む日々。還暦を機に私が挑んだ総行程1,700キロの歩き遍路の旅は、人生そのものだった。

## 宗澤 寛

昭和59年法学部政治学科卒  
(昭和54年入学)

## 人生を振り返り、再生させる旅へ

四国の自然のなかで霊場を廻りながら今までの人生を振り返りたい、そしてこれからの人生を模索し再生したい、という強い思い。家族の理解も得た。数か月はかかるので、費用、時間、体力を考えると定年で退職するタイミングしかないと思いついた。

四国八十八か所霊場と別格二十霊場、結願(全ての札所を廻りきる事)のお礼参りに高野山奥の院と金剛峯寺、高野山の麓の慈尊院、京都の東寺の計百十二の寺を一度に廻る。一日平均25キロを80日近く歩き通した。荷物は15キロ。不安、肉体的苦痛との戦いだったが一方で楽しく、歩きお参りするだけの日々。今から思えばなんと幸福な時間だったか。

昨年5月から8月にかけて四国と高野山、京都を巡礼した私の体験が、いささかでもご同輩の58会の皆様のお役に立つことがあれば幸甚だと存じ、寄稿させていただいた。

## 増え続ける外国人お遍路さん

今回の遍路で私は、フランス、デンマーク、イタリア、韓国、香港、台湾からのお遍路と交流した。

巡礼の道というと世界遺産でもあるスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラが有名だが、四国八十八か所巡礼と姉



妹縁組を結んだこともあり、ヨーロッパでも遍路が知られるようになった。今は歩き遍路の2割は外国人との統計もある。

## 坂が多く厳しい遍路道

遍路道は空海が修行で歩いていただけに、足元が悪く急峻な坂道が多い。肉体的にはかなり辛い。海辺、深い山中、里山、街中など様々。いろいろな道程があり、どのコースでいくのかは自分で決める。

最古の遍路道は徳島県の加茂道で、約700年前に作られたそう。私も歩いたが、急峻な岩場で歩きにくい。病気が治ることを祈りつつ願い叶わず道中で亡くなったお遍路の墓標が、今も遍路道に多く残されている。

## 宿での語らいが旅の味を増す

私は計81の宿に泊まったが、いい宿の確保は遍路にとって最も重要。宿に迷惑をかけないように、進行できる距離を確認のうえ前日に予約した。清潔か、食事は美味しいか、宿の人は親切か、洗濯はできるか。全て初めて泊まるので毎日が賭け。旅館、民宿、民泊、ユースホステル、ビジネスホテル、ゲストハウス、宿坊、ロッジなどほとんどの形態の宿に泊まった。

今回の宿泊費用は、一泊1,000円から11,000円までだった。いわゆる遍路宿と言われる旅館と民宿では、一泊二食付きで6,500円から7,500円。宿坊もだいたいこの範囲だ。素泊りのゲストハウスは3,000円代というところ。1,000円の例は、京都御所に近いゲストハウス。ドミトリータイプだったので特に安かったが、清潔でシャワーも24時間可能。食パンやコーヒーなどは無料で提供していた。私が宿泊したときはフランス人が多く、日本人は1割という感じ。

私が歩いた時期は梅雨や台風、酷暑の時期だったので、客は私1人という宿が多く、大事にしてくれた。宿のご主人や女将さんと食事の際によく話し込んだが、土地の歴史や事情、女将さんの半生などがとても興味深く、実に味わい深い体験だった。ただ、跡継ぎ不足や景気の悪化による遍路の減少で、古い旅館や民宿は経営的に厳しく閉業するところも増えている。

## ノーベル賞ものの「足のマメ」治療法

徳島市街に入ったあたり、歩き始めて5日目ぐらいから足に水膨れができ始め、小松島市の立江寺近くの遍路宿「鮎の里」宿泊時には3つできていた。この民宿の主人は元お遍路で、自分の別荘を兼ねて遍路宿を運営。マメの治療のプロでもあり、年間300人直すという。そういうことは露知らず、夕食の際に「足のマメが痛くて」とこぼしたら、女将さんが「大将に直してもらったら」。夕食後、同宿の70歳の女性遍路と一緒に治療してもらった。

ライターで先を熱した針に糸を通し、糸ごと消毒液（ヨードチンキ）につけてから水膨れに刺す。水が出たところで水膨れの中を針で通し、はみ出た両端の糸を切り落とす。消毒した糸は水膨れの中に残したまま、上からバンドエイドを貼って完了。

「一晩で治る」とのこと。本当に一晩で治った。施術を受けたインターンの遍路がこの方法を病院の上司に報告したところ、「ノーベル賞ものだ」と言われたという。

「鮎の里」の大將によれば、この方法は戦前の軍隊の治療方法で、訓練のときにできたマメをこうして治していたという。私も、高知の遍路宿でマメに苦しむ看護師の男性にこの治療法を伝授した。

マメが理由で途中脱落する遍路もいる。早い時期に治療のプロに出会えたことは幸運だった。

## 自然豊かな遍路道で、多種多様な動物と遭遇

外国人遍路は、「四国は川の水が綺麗で、動物や植物がとても身近で豊富」と驚く。韓国人の遍路は、「山中では木々が大きく鬱蒼として怖いぐらい」と話す。私も、熊とキツネ以外の動物とは遭遇した。猪、鹿、テン、猿、狸。あと頻繁に出てくるのが蛇と巨大ミミズ。

マムシも多く、高野山の空海が開いた古代遍路道では10匹ぐらいが道の真ん中でたむろしており、崖を登って迂回するしかなかった。徳島の山中で出会った青大将は、杖で突いて威嚇しても向かってくるので閉口した。愛媛の柏坂という遍路道で土砂降りのなか坂を登っていると、上から見たことのない獣が走ってきた。テンだった。そのあと鹿一家に遭遇。

## お遍路中の生活パターン

朝5時頃起床。6時から食事し、7時頃出発。昼は山中を歩くことが多く、食事できないことも多々あった。たまにおにぎりやカロリーメイトをお接待してくれる宿もあったが、私が歩いた時期は食物が痛みやすく、食中毒を怖れて宿が弁当を持たせてくれなかった。

一日にだいたい25～35キロ歩いて午後5時頃に宿へ着く。風呂、洗濯をして6時から食事。終わると明日のコースを確認し



【略歴】むねさわ・ゆたか

1959年、岡山県生まれ。84年、中央大学法学部政治学科を卒業し、時事通信社に入社。2006年、上海支局特派員となり08年上海支局長に。13年松山支局長、16年名古屋支社次長を経て17年総合メディア局総務兼国際事業部長。19年に退社。現在は長年の目標である起業（講演、中国語翻訳、桃栽培など）に向けて準備中。

て、次の宿の手配をする。それから家族や知人へメールをして就寝。

## 疲れた体に沁みる「自分へのご褒美」

遍路初日に炎天下のなか、標高450メートルにある別格霊場一番の大山寺への参拝など30キロ以上を歩いた。へろへろに疲れたが、安楽寺の宿坊で夕食のときに飲んだビールと日本酒が体に沁みる美味しさだった。

これ以降、自分へのご褒美として毎晩ビール大瓶1本と地酒2合から3合を飲んだ。今回の遍路で81泊したので、ビール大瓶81本、日本酒は一升瓶で18本飲んだことになる。毎日運動しているから朝はすっきり、日中もいっさいアルコールの影響はなかった。逆に、食事だけでは足りないエネルギーと栄養を供給してくれていたように思う（朝6時に食べる朝食はかなりの分量だが、9時頃にはだいたい空腹になった）。

## 今も心に残る「お接待」

「お接待」とは、遍路をしている人に地元の方々が食べ物やお賽銭を無償で提供することをいう。お遍路さんは弘法大師の化身という考えがあり、お接待は遍路のためだけでなく自分自身のご利益にもなる。

私も多くの接待を受けた。最初のお接待は、徳島の童学寺へ行く途中、50代らしき女性が車を止めて飴などを私に手渡し、「大日寺の奥の院のお不動にお参りすれば必ず難病が治る。困ったらそこへ行けば」と教えてくれた。恩山寺から立江寺への途中では、50代の男性が「お遍路さん!」と私を呼び、車から降りて「立江寺に縁があるものです」と言って小銭が入った財布をくれた。

日和佐海岸のおばあちゃんたちのお接待所では、お茶やお菓子のほか古着で作ったきんちゃくをもらった。郷照寺近くの遍路道にある多度津のお接待所では、気さくな60代の女性からカップヌードルをごちそうになり、赤ちゃんをおぶった可愛い若いお母さんに飴をいただいた。

大滝寺へ行く途中のレストラン「Toitoko (とおいとこ)」でイノシシの肉野菜料理を食べたところ、アイスコーヒーを無料にしてくれた。金山出石寺内の食堂で出石寺うどんを2杯(1杯は大盛り)食べてホットコーヒーを頼んだら、ホットコーヒーは接待してくれた。久礼から岩本寺に向かう途中、道沿いの接待所で冷えたペットボトルのお茶をもらった。炎天下で辛かったのでありがたかった。

香南市のアジサイ祭りに寄ったら、前日泊まったゲストハウス「美蘭」の女主人と再会し、その知り合いのおばあちゃんから300円をもらった。中央大学38組の同級生だった門脇護君(作家・門田隆将)の紹介で面会した高知新聞記者さんからはカツオのたたきをお接待、同じく門脇護君紹介の高知城下にある有名書店の金高堂社長夫人からお菓子や飲み物を接

待していただくなど、この旅では無数のお接待を受けた。感謝、感謝の日々だった。

## 山野を歩くことがデトックスに

わずか1メートルずつでも、一步を繋げれば1,700キロになる。人間が本来持っている力を再認識した。

平坦なアスファルトの歴史はまだわずかで、人類は坂道の多い地面や草むらを歩いていたはず。遍路道はこうした道が多く肉体的には厳しかったが、本来の姿に戻っていくようで、歩き終わったら爽快感に包まれた。デトックス。無駄な水分や老廃物が出て行った。精神面もそうだった。

都市の生活では限定された動きしかしていない。山野を歩くことで、私たちが本来持っている力を取り戻せるのではないかな。

## 国籍も年齢も異なるお遍路たちと交流

安楽寺の宿坊で知り合った陸上自衛隊出身の夫と奥さん。札幌から来ているという。夫の年齢と出身地が私と同じということが分かり、和んだ。パリから来たフランス人女性のアリスは、吉野川の土手で道を尋ねられ、一緒に藤井寺で参拝した。納札(札所でお参りした証しとして納める。遍路同志が自己紹介を兼ねて渡すこともある)を交換し、「(私が)デ・コンポステラに来るときにパリで会いましょう」と約束した。

徳島の海辺の遍路宿で会った大阪から来た40代女性は、思うところがあって遍路へ出たという。結願後、この女性が営む料理屋で再会した。お祝いにと用意してくれた地酒で痛飲。人生の妙味を感じた。静岡県菊川から来た好青年。札所や遍路宿でたびたび遭遇し、雲辺寺の登り口で写真を撮り合って別れた。

台湾の僧とは高知の宇佐の民泊で同宿。テレビドラマで日本語を覚えたという。韓国からの男性のお遍路とは愛媛の山中の遍路宿で二泊三日食事しながら語り合った。



徳島の霊前寺へのお礼参りのあとJR坂東駅で会った75歳の男性遍路は、3回目の歩き遍路。岩屋寺への山中で平家の落武者の霊と遭遇したという。一緒に高野山へ向かった。岩屋寺から宿への帰路で出会った私と同年のお遍路は、石川県の。予定している再就職までに結願しないといけないと急いでいた。

善通寺の宿坊で会った長野から来た70歳の女性は、初めての遍路でわくわく。一週間で行けるところまで行くと張り切っていた。奈良から来た男性遍路とは、善通寺の朝6時のお勤めで2日一緒に納経した。

安楽寺の宿坊で会った富山県からの65歳の男性遍路。空海の鉢山開発の話で盛り上がった。空海の本名である佐伯姓は富山にもあるらしい。「60歳で見る人生の風景と65歳で見る風景は違う。あなたがうらやましい」と語っていた。高野山の麓の九度山の旅館で同宿になった男性遍路は、西国三十三ヵ所巡りの初日。車にバイクを載せて廻るというスタイルだった。近くの天然温泉で共に体を癒した。私の出身地である岡山で中学校の教諭をしているという。

## 世界中のお遍路仲間がSNSで繋がる

Facebookには遍路仲間のグループが数多くある。私も、ある遍路宿の紹介などで4つのグループに入っているが、その1つの主宰者は60代のオランダ人女性。もう5回歩きで霊場を廻っている。

英語で入会審査があり、私も遍路中に自分のプロフィールとコメント、あと写真を送り入会を認められた。世界中で約1,400人が参加しているという。日々誰かが四国八十八か所を廻っているの、遍路の貴重な最新情報が得られる。

## 郵便局も巡れば、人と風土の理解度アップ

遍路経験のある高校の大先輩から教えてもらった。遍路中

に郵便局を見かけたら1,000円預け入れをして、通帳にその郵便局オリジナルのスタンプを押してもらおう。入金なので9時から16時まで、土日祝祭日以外という条件ではあったが、64の郵便局で預け入れができた。その土地を訪れた軌跡になる。

簡易郵便局は局員が1人で運営しており、お茶を出してくれたり、お菓子をくれたり、地元のことを教えてくれたりと実に親切。地元のお年寄りの集会所のような機能もあるため、いろいろなところで地元の人と交流できた。

郵便局巡りは、その土地の人や風土を理解することに大きく貢献し、旅に深みをもたらしてくれた。これから遍路をする方には、ぜひお勧めしたい。

## 還暦での遍路を終えて

遍路は自分の心と体に向き合う旅。自然のなかで宇宙の摂理を感じる旅。今遍路を終えてそう思う。

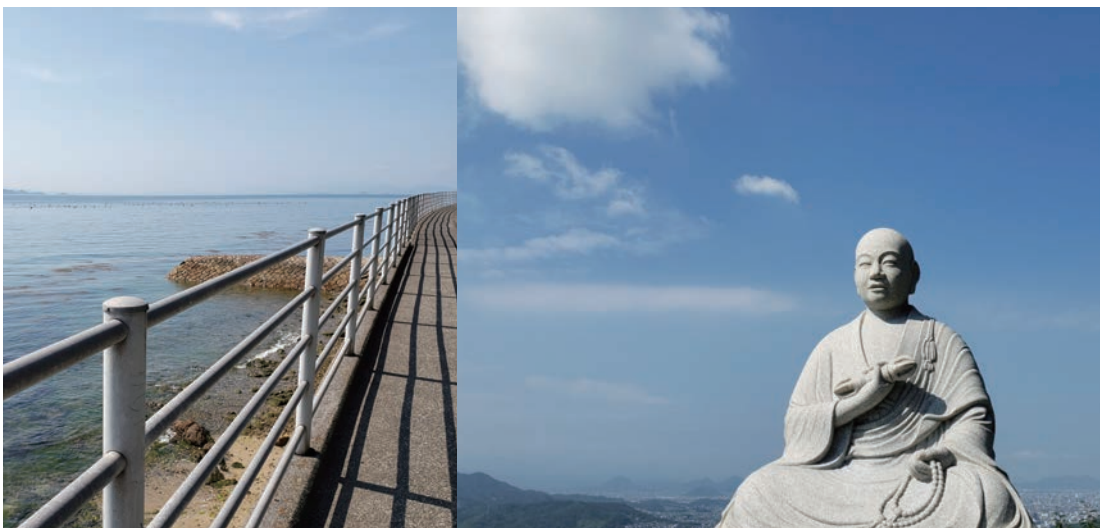
暑さと疲労で意識が朦朧となることもあったが、四国の美しい山海の風景や道端で咲く花たちが癒してくれた。苦しいときはスマホでチューリップやオフコース、松任谷由実が荒井由実だった時代の懐かしい曲を聞いた。心も体も軽くなり、音楽の力にも助けられた。こうした体験すべてがお遍路なのだろう。

\* \* \* \* \*

最後に寄稿の機会を与えていただいた中川順一事務局長と執行部の皆様に御礼を申し上げますと共に、58会のますますの盛会をお祈り申し上げます。

「茅ヶ崎夕陽美術館」と題した弊ブログに、歩き遍路の行程をアップしています。ご興味があれば、お時間のあるときにご高覧いただけると幸いです。

▶<https://chigasakisunset.com/>



## 2019年度総会報告

### 2019年度総会・暑気払い

7月20日(土) 駿河台記念館

# 同期の近況は？

今年は総会イベントどうしようかと考えていた時に丁度、57ネットさん(昭和57年卒OB会)と年次支部協議会共催の恒例企画『中大落語会』のお知らせが届いたので「それ、乗っかってみようか」ということになり、乗っかってしまいました(笑)。

13時30分から総会を記念館310号室で、15時から落語会を550号室で、17時から暑気払いを御茶ノ水『楽蔵』で開催しました。

総会は2018年度活動報告・会計報告、2019年度活動計画・予算報告と議案が進み、役員改選については来年総会まで現体制などの議案もありましたが、拍手で承認されました。

近況報告、落語会、懇親会と、充実した58会総会イベントでした。また来年も皆さんと楽しい一日を過ごせると嬉しいです。来年はもっと多くの同期生が集まってワイワイできますように。会費は総会1,000円(イベント参加費含む)、暑気払い2,000円でした。(報告・柳)

## 定年がある人も、ない人も

### —総会終了後、自己紹介と近況報告—

**司会:** 内山支部長を引き継ぎ、次期支部長就任予定の葛西さんから一言お願いします。

**葛西さん:** 小金井の中大付属から進学した葛西です。法学部の38組だったんですが38組、割と仲が良くて毎年集まっています。担任の先生も当時若かったのが今でも集まりに参加してくれています。で、その中で58会に誰か送り込まなきゃとなり、実家が神田で58会の会合にも行きやすい「葛西お前行け!」と言われ参加しています。よろしくお願いします。

卒業後、司法書士の事務所に勤めて司法書士の資格を取りました。その時お試して受けた司法試験の予備校の授業が面白かったもので、司法試験に挑戦しようと思っていたところにこの

建物(駿河台記念館)ができて、6階に司法試験の研究室ができて。そこに入って同期が108人。うちが中華ソバ屋だったのでその同期の中から、何人もアルバイトに来て。10人以上司法試験合格者を輩出! 日本一司法試験合格者の多いラーメン屋! このネタ自分が受かっていたらテレビ局に売るつもりだったのだけど受からない



葛西さん

でやめちゃった(笑)。35近くまで司法試験挑戦していたのだけどそろそろ仕事始めなきゃって。父親が不動産屋みたいなことしていたんで、俺が不動産屋やるから中華ソバ屋のスペースを不動産屋の店にしようって、神田の店の一階を不動産屋に。その後、裏の中学校が統廃合になるので、跡地に区営住宅を建てる話が持ち上がって「これは住民の生活に影響大!」と、区と近隣住民とが話し合っって街造りすることに。それで、区営住宅と民間の分譲マンションを建てることになって平成8年に25階のビルが竣工。その一階に不動産屋を移転。そこへ、うちでアルバイトしていた同級生が何十年かぶりにうちを探して来てくれた、それが小宮さん。屋号を見て、あ、葛西じゃん! となって、宅建資格取って仕事覚えたいところだったので、今、バイトで来ています。卒業した後の繋がりができて、今、楽しんでます。



内山さん

**司会:** では、恒例の近況報告スピーチ。まずは、支部長から。

**内山さん:** 今期まで支部長を務めます内山です。卒業して毎日新聞に入って、この6月で定年、再雇用で65まで務める予定です。仕事の内容は変わらず、でも、給与は半分。何だかなあですけど、仕事は好きだし、飲みにも行ける。ま、安い所で。でも、その方が楽しいかな(笑)。今日は宜しくお願いします。



柳さん

**柳:** 中川事務局長の会社でパートしています。代わり映えのしない毎日で、特に報告するような事もなくのんびらりと日々暮らしています…。そんなこんなで、これからもよろしく。



竹島さん

**竹島さん:** 5月に非常用雇用者になり、今はコンサルタント。再就職活動中ではありますが。要綱には年齢不問で書いてあっても60歳で書類審査即ダメ。不採用の連絡が来るスピードが速い! 引き続き前の会社で働いていますが、給料の方は7割減ったかな。雇用保険からの補助を貰いつつ、1分から残業代が出るので残業代貰いつつでやっています。



吉住さん

**吉住さん:** 昨年定年で再雇用。昨日誕生日で、定年から一年経ちました。大学卒業後、自動ドアの大手の会社に就職。オリンピック関係の再開発で事務所が霞が関ビルに移転中です。もしかすると近々北海道の子会社に転勤になるかも、です。定年後も雇って頂けるなら元気なうちは働きたい。再雇用でも、忙しさは変



後藤さん

わらないかな。

**後藤さん**：中杉出身です。大学卒業後オリンパスに入社して、2011年震災直後から子会社に出向、ずっと人事総務関連の仕事をしていまして、2年前役職定年。来年4月に定年。再雇用希望しても今のままとはいかずオリンパスに戻って新たな仕事に就くことになるかな。定年後についての説明会が8月なので、まだ詳細はわかりません。南大沢に住んでいるので多摩校舎に近い。大学でご用がある時は代わりに行けるかもしれません。

**間澤さん**：商学部経営卒で国際証券に入りました。合併を3回経験しましたが、一応同じ会社に36年勤めました。継続雇用だと給料は何分の1かになって、時給1000いくらで……息子の塾講師の時給と変わらないよと女房に笑われました。で、色々探して実は8月から別の所に就職することになっています。

**小宮さん**：葛西さんと同じく中付。大学は独文。西武百貨店に就職して4年位して仕事が面白くなった頃、父親が来年からうどん屋をやるぞって。S62年うどん屋を始めて、昨年たたまました。うどん屋の跡に賃貸住宅建てたから受験したら58歳で宅建(宅地建物取引士)に受かったやいまして。僕も葛西くんちの中華ソバ屋でアルバイトしていて、彼、優秀だったから大学4年に宅建の資格を取ったのを覚えていたのでふと訪ねてみたんです。葛西の店はもうないだろうなあと思いつつ、やっぱりなくて大きなビルが建っている。そこに看板がかかっている、あ、不動産屋の看板だつて。まさか違わうらうらなって見たら「葛西充」って書いてある。お、葛西じゃん!て。で、今年の春から葛西さんの所で勉強中です。

**中川さん**：皆さん、定年の話をしていますが、31歳の時起業して、定年はないけど退職金もないし多分老後の2000万もない!(笑)今、苦戦をしながら出版と広告の仕事をしています。47歳くらいの時大学から年次支部を作れと言われて58会を手伝うようになって。学生時代知らなかった友達が増えて南甲倶楽部へ。大学のOB会は50歳くらいは下っ端で大々先輩の使い走りしていて、そうこうしているうちに学会の仕事を手伝えと言われて一時学会の仕事もしていました。

**内村さん**：58会立ち上げの時関わりまして。文学部国史卒後、広告代理店に勤め



間澤さん



小宮さん



中川さん



内村さん



加藤さん

ました。40代半ばで辞めて企画会社に転職。その後50前に独立。今、相変わらず経営は厳しい。6年前に始めた庭の仕事と、舞台の仕事をやっています。今年も観世能楽堂での舞台の企画をやりました。広告は最後映像だと思います。映像関係の仕事はずっと携わって行こうと思っています。

**加藤さん**：初めまして加藤と申します。理工学部管理工学科卒。5月末に定年。ずっと工場関連の管理業務をしてきました。今は次の職を探しているところです。定年を機に総会に参加しました。また参加出来る機会があれば幸いです。

## 卒業以来37年ぶりの再会

総会后、落語会で1時間半ほどを笑って過ごし、記念館から徒歩2分の懇親会会場の『楽蔵』へ。13名参加でワイワイと。新会員さんも3人ほど増えました!

ネット予約だったので席が2テーブルに分かれてしまったのが予定外でしたが、話は盛り上がり、飲み放題だったので“飲み”も盛り上がりました。

ここで、懇親会から参加の北中さんが「卒業以来、一度も、一人の同級生とも会っていません。58会の案内は何度か貰ったけど参加したことがなく、顔見知りにも会えるといいなと淡い期待をして来たのですが、今、見廻しても知り合いは見当たらないし…」と少し落胆気味に話をしていたところ、北中さんのすぐ隣に座っていた小原さんが「えっ、北中だろ?俺、小原、小原!」と声を上げ「…んっ、あ、小原!」と卒業以来37年ぶりの再会を果たすという、目出度いような可笑しいようなエピソードもありました!!(笑)

初参加の北中さん、小原さんと会えて良かったですね。小原さんを介して同級生と繋がれるといいですね!



58会活動報告 Facebook記事より 

(活動ブログから転載。)

**多摩校舎お花見**

**2019年4月4日**

3月30日土曜『多摩校舎お花見』、行ってきました。21日に開花宣言が出た時は「あらあ〜30日散り始めてるかしら?」と心配しましたが、まだまだで、三分咲きといったところでした。やっぱり“八王子”でした。

10人参加の予定でしたが2人体調不良で、8人で開催。午後2時に多摩モノレールの駅改札に集合、大学内に。卒業以来の方もいて周囲の変わりように「別世界!」と!(笑) まず皆が興味を持ったのはサークル棟でした。「僕のいたサークル無くなってる!」とか、「まだあった!」とか。

懐かしのサークル棟、外観は少しくすみ、階段は丸みを帯び、壁は貼っては剥がし剥がして貼ったポスターの跡、床は直に書いたサークル名の消え残り…、威容を誇ったかの“明治大学サークル棟”には及びませんでした。質実剛健、反骨精神、まだ受け継がれてる?かな。

生協で中大グッズを物色してから、

ちらほら咲きの桜の下で高幡まんじゅうさん(会員の峰岸さんのお店)のお団子を食べ、校舎を暫し見学。学生時代にふうふう言いながら登った中大坂をゆるゆると下って、多摩モノレールの線路を見上げ、そのモノレールに乗って立川へ。立川グランデュオの随園別館で懇親会、6人参加でした。

桜、もう少し咲いてると良かったのですが、思い出話の方は花が咲きました。来年もまた、お花見したいです。

**会報10号発送完了**

**2019年4月18日**

天候不順が続いていましたが、やっと春らしくなりましたね…と思ったら急に暑くなるのは、勘弁です!この天候不順のおかげで、桜は長く楽しめました。

さて、会報『58会通信』第10号、やっと発送しました。3月末に発行したんですが発送準備に手間どり、今頃になってしまって申し訳ないです。

会報10号ということは、58会、10年ということですよ!!同期の中島康予法学部教授のインタビュー記事も載っています。

**元支部長のプロデュース**

**2019年5月16日**

暑かったり寒かったり、体調を崩しやすい天候が続いてます、皆さん大丈夫ですか? 私は丈夫な質で、特に変わりはありませんが(笑)…只、暑いと思ったら天気急変、雹がバシバシ降ってくるなんて日があると「真夏はどうなるんだよう!」と本気で心配しています。

先日、元58会支部長の内村愛さん(男性です)がプロデュースに関わっている舞台『一粒萬倍』(題材は日本神話)を観に、銀座シックスの“観世能楽堂”に行ってきました。和洋の芸能が混ざり合った不思議な舞台で、内村さんから説明を聞いた時は「??どんな舞台?」と想像できませんでした。面白かったです! 能に狂言に日舞にダンス、尺八に能管にバイオリンにチェロ、等々混在の舞台が何故かまとまって観ていて楽しかったです。特に音楽は心地よいくらいでした。が、銀座シックス、オシャレ過ぎて還暦おばさんには分かりにくい! ビルの中に入ってから3分くらいウロウロしてしまっ



**中大がんばれ**

同期・進藤(旧姓・平)有紀彦さんの奥様・浩美様よりお手紙をいただきましたのでご紹介します。

主人は還暦5日前の12月12日、悪性軟部腫瘍(筋肉に出来る悪性の腫瘍で、次々筋肉に腫瘍をつくり、肉眼で再発も確認可能)にて、痛みと戦いぬいて死亡しました。スポーツ観戦が大好きでTVに中大学生が出ると「中大がんばれ」と言っておりました。中大後輩の皆さんががんばって下さい。主人の思いをこめて、わずかですが、維持費に協力します。  
妻・進藤 浩美



## “ブログ、ほぼ毎週更新!!”

## 後楽園でホームカミングデー

2019年10月3日

9/28・29と理工学部創立70周年行事と、ホームカミングデーが開催されました。70周年行事の写真載せておきます。

今年のホームカミングデーは例年のような模擬店は出ないということで、その代わり…というわけでもないと思いますが29日に東京ドームホテルで『中央大学の夕べ』というパーティーが行われました。58会からは事務局長をはじめ5名が参加しました。

## 同期関わった映画が公開

2019年10月24日

同期の小野一之さん(府中郷土の森博物館館長)が撮影プロジェクトの理事として参加した映画『くらやみ祭の小川さん』が10月26日より公開。六角精児さん高島礼子さんらの出演です。TOHOシネマズ府中(それは府中からですよ!)から順次全国公開。小野さんもちょこっと出演しているそうです! 公式サイトURLは<https://kurayamiogawa.com/>です

## 箱根駅伝予選会

2019年10月31日

10月26日土曜日、今年も行ってきました。昭和記念公園と立川駐屯地。そうです箱根駅伝予選会です! 他の白門会支部で参加してきたのですが…あ〜ハラハラドキドキした〜! 中大、予選会突破はほぼ確実との下馬評だったけど。

前日と打って変わって秋晴れの気持ちのいい天気でしたが…スタートの9:35頃は“日向が暑い!”。ちょっと心配。スタートを見送って公園内で選手達を待ちました。留学生が先にやって来るのは分かってましたが、後の集団に中大生が固まっている筈が…いない。全体にばらけていて1~2人しか確認できず、だんだん不安になり。「これ、厳しいかもしれない。」と言いながら最後の走者を見送って発表のあるみんなの広場へ。10人ゴールの順位が中大より遅かった大学が先に読み上げられ「10位でいい!お願い!」と。第10位の声の後、間が長〜い(気がしただけか?)。広場全体が静まり返る中、次の一言が“ちゅ”なのか“れ”なのか心臓バクバク。「中央大学」の発表でワー!! 拍手〜!! 安堵!! でした。



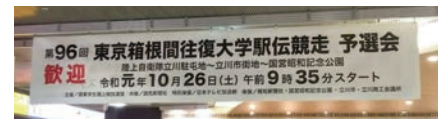
## 中大落語会

中大落語会は以前から57ネットさんが開催していて3年前から年次支部協議会との共催になった夏恒例のイベントです。何度もお誘い頂いていたのになかなか都合がつかず、興味はあったのに未だ聴きに行けていなかったのが、7月20日総会ならグッドタイミング! と皆で参加することにしました。“お耳代”は58会口座から出し葛西さんのお友達一人を加えて58会メンバー13名で参加!

演者は男女のコントコンビ“バーバラ”さんと中大OGで林家正蔵門下の二つ目“林家つる子”さん。つる子さんは何回目かの出演ですが、バーバラさんは女性の方が1984会(一学年下)の会員さんのお嬢さんという縁で中大落語会に出演とのことでした。中々面白かったです。お客の年齢層も考えて慎重にネタ選びをされたようですが、シュールなネタも一つ入っていて、それも中々受けていました。つる



子さんは聴く度に上達されて、最初の内は親戚の娘さんが演じているような気になり、少しドキドキしましたが、噺が始まると“親戚のおばちゃん”気分はどこへやら落語の世界に入って聴きました。特に2席目の『片棒』は噺家さんらしい演じっぷりで、聴き入りそして笑いました。



## 還暦・定年を一言で言うと……

還暦祝いはした？

現在の自分の肉体と精神の年齢は？

何歳まで働きたい？

還暦・定年後大切にしたいことは？

2020年に還暦・定年を迎えた／迎える同期に「それを一言で言うと」と尋ねたところ、こんなコメントが集まりました。みなさんはどんなことを思いますか？ アンケート用紙に書いて送ってください。

(表での還暦・定年の「到達」は2020年3月末時点)

男女	還暦	定年	還暦・定年を一言で言うと……	男女	還暦	定年	還暦・定年を一言で言うと……
♂	まだ	ない	自営業であり、特別な感想がなく残念です。	♂	まだ	ない	これから！まだまだ！
♂	到達	到達	これからは自分の本当の人生のスタートだと感じています。	♂	到達	ない	隠居気分
♂	到達	ない	来し方行く末を立止まって考える地点	♀	まだ	ない	そんな歳かあ…
♂	到達	ない	通過点	♂	到達	到達	新たな人生の始まりである。
♂	まだ	ない	人生の一区切り、通過点。	♀	まだ	ない	親・他の人が還暦迎えた時は60歳ってすごいなと思いましたが、自分があるとあっけないです。まだまだ若い気持ち身体のももりです。
♂	まだ	ない	Re-Born	♂	到達	まもなく	環境の激変で最も覚悟が必要な年齢
♂	到達	到達	先行きが不安で、たいへんきびしい。	♀	到達	ない	自分自身はあまり変わっていないつもりなのに、周囲がいつの間にか変化している。
♂	到達	到達	あっけなく迎えたな。そして、振り返ると、あつという間だったな！	♂	到達	到達	我々の世代は共通一次、中間管理職の地位低下、年金延長、70歳まで働け……割を食う世代→還暦どころでは無い
♂	到達	ない	人生の節目	♂	まだ	まもなく	“もう”は“まだ”なり
♀	まだ	ない	生→死の通過点	♂	到達	到達	バラ色の人生？
♂	まだ	ない	あつという間でした	♀	到達	ない	のんびんだらりと生きてきたので、60まであつという間。同時に遥々来たもんだとも思ってます。
♂	到達	ない	上善如水	♂	到達	到達	人生ってこんなもんか…
♂	まだ	まもなく	一つの節目を迎え、改めてスタートを、という気持です。	♀	到達	到達	体調は整わずつらいですが、年をとるのも良いものです。これまでの人生をふりかえりつつ精神的に充実感があります。欲ばりすぎずゆっくり生きていきたいです。
♀	まだ	ない	いつの間にかこんな年齢になってたの～！				
♂	到達	ない	今は、昔の9掛けくらいの年齢でみるべき60才×0.9=54才←昔の				
♂	到達	まもなく	疲労感				
♂	到達	到達	青春の終り				
♂	まだ	ない	想像と違う				
♂	到達	到達	還暦などはるか先の話だと思っていた。				
♂	到達	まもなく	まだ、これから先、やりたい事、できてない事がいっぱい。				

### ▶ 維持会費納入のお願い

白門58会は入会金・会費無料で運営しています。会の運営費は、会員の任意の維持費と会報の広告、学生会本部からの支援金などによって賄っています。維持費は会報発送費のほか、白門支援金など学生会や大学への寄付に充てています。ご協力をお願いします。

**維持会費は1,000円以上、いくらでも結構です。**

維持会費ご協力の方には、金額にかかわらず学生会グッズを謹呈します。同封の振り込み用紙をご利用ください。

振込先

ゆうちょ銀行（武蔵府中郵便局）  
00180-5-433209  
白門58会（ハクモンゴハチカイ）

### 編集 後記

今年の中大の卒業式と入学式は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止になった。晴れの門出で式典に参加できなかった本人はもちろん、子供の成長した姿を楽しみにしていた父母たちもさぞや残念なことだろう。

思えば白亜の校舎がまぶしい多摩キャンパスで入学式に臨んだのが41年前、卒業式からも37年の歳月を迎えた。多くの同窓は定年を迎え、第二の人生を歩み始めたころだろう。

私も昨年から再雇用で働いているが、これまでの仕事の延長ではなく、入学式のころのフレッシュな気持ちを思い出し、日々過ごそうと思う。（支部長・内山勢）



## 評伝 水島廣雄

あとから来る  
旅人のために

学者、教育者、実業家として、偉大な功績をあげた水島廣雄先生の足跡から、改めて学習し、将来の糧とする（水島廣雄追想録出版委員会より）

編・著 水島廣雄追想録出版委員会 四六判 500 ページ 2,500 円+税

諏訪書房

発行所 株式会社ノラ・コミュニケーションズ  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-6  
tel 03(3204)9401 fax 03(3204)9402

全国有名書店、Amazon等  
インターネット書店で発売中

## 還暦・定年アンケート

アンケートの内容、目的は以下の通りです。

多くの会員が還暦・定年を迎える時期となったことから、会員の皆様のお考えを収集するものです。

回答は集計結果とコメントのピックアップ(無記名)とします(回答者を特定する掲載は行いません)。

また寄稿は「還暦・定年」をテーマに、別紙内容で原稿を募集しています。寄稿については、「記名・匿名希望」を明記してください。

このアンケート・寄稿はとくに締切を設けません。(随時、集計を更新し、ホームページに掲載していく予定です)。同封の封筒またはFAX(03-3204-9402)、メール添付(chuo58@noracom.co.jp)にてご送付ください。

氏名 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科) ※未記入・匿名可

該当する選択肢に○をつけてください。

- 1 (2020年3月末現在で) 還暦を…… [1] 迎えた [2] これから
- 2 「還暦祝い」を…… [1] した(する予定) [2] しない(しない予定) [3] 未定・わからない
- 3 現在の自分の「肉体年齢」は何歳ぐらいだと思うか  
[1] 30歳未満 [2] 30歳代 [3] 40歳代 [4] 50歳代 [5] 60歳代 [5] 65歳以上
- 4 現在の自分の「精神年齢」は何歳ぐらいだと思うか  
[1] 30歳未満 [2] 30歳代 [3] 40歳代 [4] 50歳代 [5] 60歳代 [5] 65歳以上
- 5 (2020年3月末現在で) 定年を…… [1] 迎えた [2] これから迎える [3] 定年はない
- 6 (上記5で[1][2]を回答した方。予定も含め) 定年後の仕事は……  
[1] 再雇用 [2] 同業または同職種に再就職 [3] 異業種または別職種に再就職  
[4] 無職(就労しない) [5] 未定・わからない  
[6] 起業・その他(具体的に) 【 \_\_\_\_\_ 】
- 7 何歳まで働きたいか…… [1] [ \_\_\_\_\_ ]歳まで [2] 死ぬまで [3] もう働かない [4] わからない
- 8 これまでの人生で「最も幸せに感じた(感じる)年齢は…… [ \_\_\_\_\_ ]歳頃
- 9 これまでの人生で「最も不遇(不幸)を感じた(感じる)年齢は…… [ \_\_\_\_\_ ]歳頃
- 10 これまでの人生で「最も充実(満足)を感じた(感じる)年齢は…… [ \_\_\_\_\_ ]歳頃
- 11 還暦・定年後に最も大切にしたいことは(2つだけ選んでください)  
[1] 健康 [2] お金 [3] 仕事 [4] 趣味 [5] パートナー(配偶者・恋人)との関係  
[6] 家族との関係 [7] 親戚との関係 [8] 友人との関係 [9] 近隣や地域との関係  
[10] その他(具体的に) 【 \_\_\_\_\_ 】
- 12 これからの人生で特に不安・心配なことは(2つだけ選んでください)  
[1] 健康 [2] お金 [3] 仕事 [4] 趣味 [5] パートナー・家族 [6] 人間関係  
[7] その他(具体的に) 【 \_\_\_\_\_ 】
- 13 還暦・定年を機にやりたいこと(やったこと)や計画していることは(複数回答可)  
[1] 新しい趣味・学び [2] 新しい仕事・商売 [3] リフォームや転居 [4] 孫の世話  
[5] 長期の旅行 [6] ボランティアや地域活動 [7] 終活  
[8] その他(具体的に) 【 \_\_\_\_\_ 】
- 14 還暦・定年の感想を一言で言うと……  
【 \_\_\_\_\_ 】

※ありがとうございました。会報に掲載する原稿も募集しています(裏面)。ご協力ください。  
送付先:同封の封筒またはFAX(03-3204-9402)、メール添付(chuo58@noracom.co.jp)

還暦・定年を迎えた、あるいはこれから迎える現在の心境、近況やこれまでの人生を振り返っての思い出など自由にお書きください。写真も掲載できます。「還暦・定年」以外のテーマでも結構です。

いただいた原稿は原則としてすべてホームページに掲載し、一部を会報に掲載します。

掲載にあたっては編集（修正や削除等）させていただくことをご了承いただきます。

匿名希望の場合はその旨とペンネームをご記載ください、原稿内容の確認を行いますので連絡先（電話またはメール）を明記してください。

本用紙以外でご送付される場合も題名、氏名、学部・学科、連絡先、匿名希望か否かを明記してください。

氏名 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科)

連絡先 [ \_\_\_\_\_ ]

匿名希望の場合はペンネーム [ \_\_\_\_\_ ]

題名 [ \_\_\_\_\_ ]

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

送付先：同封の封筒またはFAX (03-3204-9402)、メール添付 (chuo58@noracom.co.jp)

キ  
リ  
ト  
リ  
✂